

こんにちは議会です

曾於市議会だより

第54号

平成30年11月15日発行

のびのび元気いっぱい檣っ子
(檣小学校・檣校区合同運動会 P20参照)

第3回定例会	2
委員会報告	5
市政を問う	9

第4回 定例会予定	
11月30日	開会
12月4日～6日	一般質問
12月21日	閉会

第3回 定例会

- ・会 期 平成30年9月7日～10月9日（33日間）
- ・一般質問 10名の議員が登壇（詳細は9～19ページ）

認 定

◎平成29年度水道事業・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公共下水道・笠木簡易水道事業の会計決算認定
（詳細は3・5～7ページ）

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算は、まちづくり曾於（S O O G o o d F M）にて、未収・不明金が発覚したため、継続審査になりました。

補 正

◎一般会計補正予算（第3号）は、7億8561万円追加で、畜産クラスター事業や災害復旧費等が主なものです。
（詳細は3ページ）

◎一般会計補正予算（第4号）は、744万円追加で高等教育機関設立可能性調査費です。
（詳細は3・5ページ）

一般会計補正予算 総額247億360万円

賛成多数
可決

全会一致
可決

補 正

◎一般会計補正予算（第2号）は、1億9986万円追加で、梅雨前線豪雨と台風7号による災害復旧費の追加です。

全会一致
可決



第1回 臨時会
・会 期 平成30年7月30日
（1日間）

一般会計補正予算（第3号）

曾於市森林組合に

大型トレーラー導入

問 林業成長産業化補助金の内容は。

答 曾於市森林組合の木材運搬用トレーラー購入に補助金を出す。内訳は次のとおり。

購入費	3,900 万円
県補助金 (1/2 以内)	1,950 万円
市補助金 (1/3 以内)	780 万円
組合負担	1,170 万円

問 民間林業者も、補助対象になるか。

答 条件に合えば対象になる。

畜産クラスター事業に3農場決定

問 畜産クラスター事業補助金の内容は。

答 (株)ナンチクファーム大隅他2施設の増築等に工事費の1／2補助1億8900万円であり、増頭を図るものである。すべて県の補助金である。

道の駅きらら館管理費

問 屋外便所建替工事費の増額の内容は。

答 当初計画で、障害者や子ども連れ用のトイレを計画していなかった。国土交通省より、指摘を受け追加するものである。

意見 多くの方が利用する道の駅のトイレである。公共施設で障害者用のトイレは、当然あるものである。当初計画段階で精査が足りなかったのでは。

国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

全会一致
可決

今回の補正は、一般被保険者療養給付費1300万円減額し組み替えを行う。

後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

賛成多数
可決

今回の補正は、保険料還付金が、当初の見込み以上に多かったため150万円追加する。

介護保険特別会計補正予算（第2号）

全会一致
可決

今回の補正は、歳入で前年度繰越金1億4283万円を追加する。

平成29年度特別会計
認定結果

件 名	結 果
国民健康保険特別会計	全会一致 認定
後期高齢者医療特別会計	賛成多数 認定
介護保険特別会計	全会一致 認定
公共下水道事業特別会計	全会一致 認定
生活排水処理事業特別会計	全会一致 認定
笠木簡易水道事業特別会計	全会一致 認定
水道事業会計	全会一致 認定

議案内容 高等教

育機関の設立可能性調査の実施に伴

い、744万円を追加するもの。

賛成多数
可決

反対討論

財部高校跡地に曾於市立看護専門学校の設立は、実現不可能と思われる。県内の看護専門学校志願者は、定員より多いが、入学者は、どこも定員を割っている。少子化の中、国の許認可も難しい。県の資料でも十分予測できることである。

賛成討論

設立の可能性調査なので、市民に後で非難されないよう十分慎重に調査すれば問題はない。

※総務常任委員会付託のためP5に委員会報告を掲載しています。

条例改正

市税条例等の一部改正

たばこ税の税率

が平成30年10月1

日から3回に分け

て段階的に引き上げられる。今

回の改正で「加熱式たばこ」の

区分が新たに設けられた。値上

げによる市税の収入が720万

円程度見込まれる。

全会一致
可決

末吉岩崎地区農業研修センター
の設置及び管理

問 他の農業研修

センターも今回の

改正内容と統一で

きるのではないか。

全会一致
可決

答 財部・大隅地区は利用形態

も異なり、利用料が高くなるな

どの影響があるので、年度途中

の条例改正は避けた。

市道路線の認定

問 各路線の現状は。

全会一致
可決

地区名	路線名
末吉町	法楽寺北線
末吉町	法楽寺中線
末吉町	中学校通2号線
末吉町	川内西線
末吉町	菅渡東・飛山線
末吉町	菅渡東・尾崎山線
大隅町	馬場・中園線

答 中学校通2号及び馬場・中

園線は隣接する学校建設時に、

ほかの5路線は、農道や集落道

として整備された道路で、全路

線アスファルト舗装で側溝も整

備されている。

意見 今後、市道として管理で

きる道路があれば精査し、積極

的に認定してほしい。

人権擁護委員の推薦（再任）

平成30年12月31日をもって満

了に伴い ※任期は3年

花房 親志氏 68歳

（財部町南俣）

教育委員会委員の任命（再任）

平成30年10月4日をもって満

了に伴い ※任期は4年

川畑 和徳氏 66歳

（末吉町上町）

委員会 報告

各常任委員会では、付託となった議案について審査を行いました。
*委員会付託とは・・・議会に提案された議案などの審査を担当の委員会へ依頼すること。委員会審査が終わると委員長は、本会議でその結果を報告し審査結果を参考に議決します。

総務常任委員会

一般会計補正予算(第3号) 所管分

財政調整基金積立金

問 繰越金4億2100万円は、財政調整基金に全額積み立てるべきでは。

答 3億5000万円を財政調整基金に積み立て、残りは12月の補正予算等において不足する財政調整分として計上する。

行政改革実施事業

問 行政改革実施事業で総合窓口・ワンストップサービス先進地研修をなぜ、今頃行うのか。もっと早期にすべきではなかったか。

答 今年2月に曾於市のイメージアップ事業としての総合窓口サービスに関する報告があり、市をあげて取り組むことになったため。

一般会計補正予算(第4号) 所管分

問 財部高校跡地に高等教育機関(看護短期大学) 設立可能性調査費744万円については、少子化の中、大きな市も取り組まないのに曾於市でできるのか。

答 あくまでも調査なのでメリット・デメリットを含めて調査する。

平成29年度 決算認定

生活排水処理事業特別会計

事業内容

この事業は平成14年度から着手し、今年で16年目となる。合併処理浄化槽設置数は1007基設置されている。29年度は31基設置。入札などによる余剰金は今後の備えとして修繕や取替などに使用する。

意見 法定検査料について他県と比べて高いようである。関係団体へ見直し等を要望すべきでは。

閉会中の事務調査

○平成30年8月24日(金)

○日置市東市来町

(鹿児島県消防学校)

○鹿児島県消防操法大会における消防技術に関する調査

○曾於支部代表として、ポンプ車の部では末吉中央分団が3位、小型ポンプの部では、大隅南分団が7位と、小雨交じりの中で両分団、機敏な動作ですばらしい操法であった。



競技中の末吉中央分団

文教厚生常任委員会

一般会計補正予算(第3号)所管分

児童生徒の振興に

問 小学校教育振興費の内容は。

答 諏訪小、岩川小の楽器購入費と高岡小のサッカーゴール設置費に568万円である。

問 青少年育成費の追加内容は。

答 日本スカウトジャンボリー参加に34万円補助の増に伴うもの。

問 図書購入基金費の内容は。

答 118万円の寄付があり、基金残高は1億3289万円になる。

通学路を安全に

問 小学校管理費の追加内容は。

答 12カ所の危険ブロック塀撤去、8カ所にスチール製の目隠しフェンスを設置するもの。

問 小学校全ての危険ブロックは解消できるのか。

答 小学校は全て解消できる。

問 中学校の状況は。

答 中学校については、危険ブロックは見られない。

放課後の児童のために

問 放課後児童クラブ施設事業補助金の追加理由は。

答 事業補助金は、大隅町「るんぶクラブ」に対する補助基準額増に伴うもの。

平成29年度 決算認定

国民健康保険特別会計

問 税収が増加した理由は。
答 子牛価格の高値など。

問 療養給付費の伸びが、平成28・29年度は1%を切っている理由は。

答 特定検診や保健指導等により生活習慣病の重症化予防の効果が出ているのでは。

後期高齢者医療特別会計

問 県全体での歳出額と被保険者数の推移は。

答 数年後には団魂世代が75歳となるため増加が予想される。

介護保険特別会計

問 介護サービスの状況は。

答 特養や老人保健施設からグループホームを含む居宅介護、デイケア等のサービスを受ける方が増加している。待機者が276人、労働条件が厳しいため職員不足。

閉会中の事務調査

○平成30年7月31日(火)

○曾於市内及び近隣市町図書館(曾於市立図書館・三股町立図書館・都城市立図書館)

○図書館の運営に関する調査



都城市立図書館での視察の様子

意見 各図書館の概要や運営状況について調査した結果、今後小さい頃から本に親しむことができるよう、乳幼児を対象とした図書の普及の拡充と、乳幼児から大人まで多くの市民が図書館利用できるようさらなる取り組みの強化を求めたい。

建設経済常任委員会

一般会計補正予算(第3号)所管分

清流の森大川原峡管理費

問 清流の森大川原峡管理費は、6月議会で125万円増額した。127万円の再増額の内容は。

答 調理施設等の改修工事を追加した。

意見 指定管理者と契約前に十分協議し、改善箇所があれば一括して提案することが望ましい。

水道特別会計補正予算(第2号)

議案内容 土地購入費123万円を追加

問 土地購入場所はどこか。

答 財部町七村水源地隣の畑である。

平成29年度 決算認定

水道会計

問 経営状況は良好か。

答 今年度の収支は、一般会計からの繰入れ約4500万円であつたが、239万円の赤字であつた。企業債(借金)が約15億円あり、今後水道料金の改定を検討しなければならぬ。

意見 一般会計からの繰入れや借金も多い状況のなか、水道管の更新もあるので、経営改善に取り組むように要望する。

公共下水道事業特別会計

問 施設の修繕計画があるか。

答 耐用年数を超過した設備もあるが計画書は整備していない。

意見 施設・機械の耐用年数の見直しを行い、来年度予算に反映するように。

笠木簡易水道事業特別会計

問 事業費と今後の運営は。

答 平成28年度までの3カ年計画で整備し、29年度から維持管理へ移行している。

問 収入未済額28件の状況は。

答 現在は、すべて収入済である。

意見 健全な運営に努めてほしい。

閉会中の事務調査

○平成30年8月30日(木)

8月31日(金)・9月4日(火)

○農林業・畜産振興に関する調査(曾於市地区秋季畜産品評会)

○地区別の出頭数は、財部地区38頭、大隅地区29頭、末吉地区61頭で、曾於地区畜産共進会への出品牛が選考される。

今後の畜産振興が期待される。



共進会出品牛

第67回 県畜産共進会報告

○平成30年9月29日、県内11地区から58頭の肉用牛が出品され、本市出品牛8頭が最優秀賞に選ばれた。

意見 今後も畜産振興協議会を中心に、さらなる和牛の改良に努めていただきたい。

議会運営委員会

所掌事務調査

○平成30年7月2日（月）
～4日（水）

○茨城県那珂市・群馬県富岡市

○議会運営について（会期
日程・一般質問・議会報告会等）



茨城県那珂市での視察の様子

○2市とも基本条例に沿って、議会運営がされているが、毎年外部講師を招いて研修している。その結果として市民の目に見えるような改革がなされていると感じた。また、本市においても一般質問での執行部の「検討します」等の回答や、決算審査等の日程の在り方、一般質問と議案質疑の明確化について議論を重ね改革していくべきであると感じた。



7月26日（木）
ICT推進セミナーにて講演しました。



高鍋町議会運営委員会視察受入の様子

行政視察受入状況

7月17日	都城市役所総務課	タブレット導入
7月18日	小林議会運営委員会	タブレット導入
7月30日	高鍋町議会運営委員会	議会のインターネット中継
		議会タブレット使用
8月8日	鹿屋市議会事務局	タブレット導入
		政務活動費
8月10日	南九州市議会事務局	タブレット導入
10月15日	阿久根市議会運営委員会	タブレット導入
10月18日	大垣市議会	小中学校の統廃合と跡地利用

8月28日（火） 議会広報等調査特別委員会は、議会広報研修会（鹿児島市）にて、講師の吉村潔氏により、講話「広報誌編集上の基本」と、本広報誌の審査を受け、今回受講したことを、今後の広報誌作成に活かしたいと感じた。

市政を問う

1. ^{みやさこ}宮迫 ^{まさる}勝 議員 P10

○小中学校の普通教室にエアコンを
○道路行政について

○末吉小のトイレについて
○地域おこし協力隊について

2. ^{うみの}海野 ^{りゅうへい}隆平 議員 P11

○危険ブロック堀と安全対策について
○全国学力・学習状況調査の結果と学力向上の取組みについて

3. ^{ひさなが}久長 ^{とらお}登良男 議員 P12

○市営住宅について ○人口対策について ○福祉教育について

4. ^{さこ}迫 ^{すぎお}杉雄 議員 P13

○商工業振興について ○地域コミュニティの向上について
○人材派遣について

5. ^{とくみね}徳峰 ^{かずなり}一成 議員 P14

○各市有施設は包括的な管理と運営を ○障害者の雇用について
○市の教育行政の推進を

6. ^{いまつる}今鶴 ^{はるのぶ}治信 議員 P15

○農業用廃プラスチックの回収について ○不妊治療について
○農業公社について

7. ^{ふちあい}湊合 ^{まさあき}昌昭 議員 P16

○全国学力・学習状況調査の状況について ○森林事業の状況について
○市内図書館の利用状況について

8. ^{おおかわうち}大川内 ^{とみお}富男 議員 P17

○財部駅前屋台村について ○マインドロードと市道清掃について
○教育行政について

9. ^{まつのした}松下 ^{いずみ}いずみ 議員 P18

○県・市道について ○曾於市財部町における夏の催事について
○子育て支援について ○大川原溪谷について

10. ^{いわみず}岩水 ^{ゆたか}豊 議員 P19

○旅館・ホテル施設誘致について ○鳥獣被害対策について
○水道事業について

すべての普通教室にエアコンを

市長／財政的裏付け等教育委員会と詰めて
検討していきたい



宮迫 勝 議員

問 本年4月に文科省より、「学校環境衛生基準」に関する通達があったが、どんな内容か。

教育長 今回、教室の温度は17度以上、28度以下が望ましいとの通達があった。

問 現在曾於市の小中学校の普通教室で、エアコンが設置されているのはどこか。



扇風機よりもエアコンを

教育長 市内150の普通教室で財部小1、財部中1、大隅中2の4室で2・7%である。

問 すべての教室にエアコンを設置した場合の予算額はいくらか。

教育長 約3億4千万円と試算している。

問 市長はエアコン設置について、もっと教育委員会と議論すべきではないか。

市長 財政的な裏付け等、総合的に教育委員会と詰めて検討していきたい。

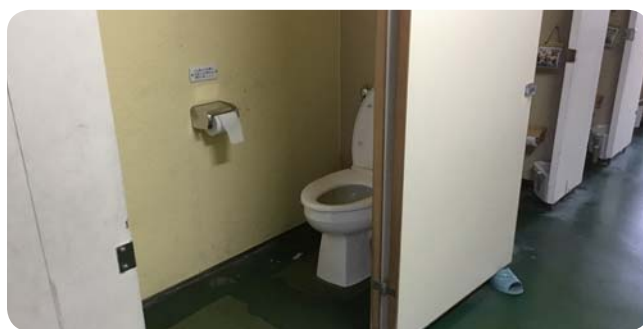
末吉小のトイレ改善を

問 末吉小の女子児童の洋式トイレの数が足りない。増設を。

教育長 平成31年度に8基のトイレ洋式化を計画している。

問 今の子ども達には、和式のトイレは使いづらい。8基と言わずすべて洋式化すべきだ。

教育長 変更可能か再検討したい。



洋式トイレが一基だけ。増やしてください

道路行政

問 財部の市道沿線の住民から、大型車通行での振動・騒音解消の要望があった。対策は。

市長 舗装改修を計画している。速度規制は再度公安委員会に要望したい。道路拡張の要望は、地権者等の同意が必要なので今後検討したい。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊の課題は何か。

市長 運用改善や任期満了後の支援体制が重要である。

問 定住化の支援策は。

市長 起業は望まないが、定住を希望される隊員には、市役所内外での就職活動を支援したい。

「エアコン設置」は
子どもたちの
強い願いです。

ちょっと
ひとりごと



海野 隆平 議員

危険ブロック塀と安全対策は

市長／老朽化したブロック塀は
解体しフェンスを設置したい

問 文部科学省より教育委員会に対し学校内、通路、学校近辺の塀の安全性について調査依頼があったと思うが。

教育長 6月19日、文部科学省、国土交通省より安全対策を行うよう依頼があった。

問 調査結果はどうであったのか。

教育長 調査の内容は、ブロック塀は高すぎないか、厚さは十分か、控え塀があるか、基礎があるか、老朽化で亀裂や傾きなどです。危険なブロック塀のある学校が9校あった。

問 学校内外、近辺の塀の安全性については、いつ調査されたか。



学校敷地内のブロック塀

教育長 市内全小中学校の学校敷地内については、6月25日～7月2日までの間に計6日間調査した。通学路については、各学校4月～9月までの間で確認している。

問 どのような対策を講じたか。

教育長 学校敷地内のブロック塀は、早急に解体し、フェンスを設置したい。

学力向上の取組み

問 県内小中学校の全国学力・学習状況調査の結果は。

教育長 「小学校算数A」のみが全国平均と同じで、他は、1%～3%下回っている状況で、県全体の児童生徒の学力は、依然としてやや低い状況が続いている。

問 本市における小中学校それぞれの結果は。

教育長 小学校では、理科は県平均より1%低く、その他は4%低い。中学校は、理科が県平均より3%低く、国語A・B、数学Aが4%、数学Bが6%低い。

問 今後の改善点は。

教育長 各学校が取り組んでいる「授業改善」を更に推進していく必要がある。

新教育長、
子ども達の学力向上
期待していますヨ。

ちょっと
ひとりごと



全国学力・学習状況調査報告書



用途廃止の住宅



久長 登良男 議員

市営住宅の用途廃止(取り壊し)計画は

市長／平成39年度までの10年間の計画に沿って実施している

問 用途廃止をしなければならぬ一番の理由は何か。

市長 耐用年数超過及び耐震性の理由から安全性が確保出来ないと判断した場合に計画する。

問 今回該当する団地数はいくらか。

市長 市営住宅11団地、市有住宅8団地である。建て替え計画の市営住宅4団地である。

問 対象となる戸数は何戸か。

市長 市営住宅67戸、市有住宅11戸に通知をした。建て替え住宅95戸に通知をした。

問 用途廃止に伴い意向調査の回答は。

市長 他の市営住宅への転居希望が多く、建て替え予定の団地で引き続き居住の希望が多かった。

問 取り壊し後の土地の活用計画は。

市長 公園や広場などの活用、地域の活性化や定住促進を図る計画である。

福祉教育

問 コミュニティ・スクールの基本的な考えは。

教育長 保護者や地域住民が一定の責任を持って運営に参画する仕組みの学校である。

人口対策

問 人口対策の基本的な考えは。

市長 雇用の創出・交流人口増・若い世代への支援・安心な暮らしに取り組む。

問 市営住宅が人口対策に果たしていると思うが認識は。

市長 地域の人口増や活性化に一定の役割を果たしてきた。

自分の事は自分で
地域の事は地域で
考えよう

ちょっと
ひとりごと



中学生と交流のひまわり畑



迫 杉雄 議員

商店街の振興はまちの元気となる

市長／補助金制度を制定している

問 空き店舗対策について現状は。

市長 空き店舗の現状は、180店舗中29店舗が空き店舗である。

問 商工業後継者育成、店舗改築・新築等の対応・指導は。

市長 新規就業者支援対策事業で16名に補助し、新築・改築事業では、9件で415万円を補助している。



開業予定地

問 空き店舗等に対して起業・開業に支援する補助金制度を制定して、市外からの参入で人口増を図るべきであるが。

市長 新規就業者に、月額7万円、後継者に5万円を二年間支給し、新築・改築補助金は事業費の30%で50万円が限度額である。

年間を通して
交流人口を増やせ

問 交流人口(滞在人口)は年間を通じて交流人口増を図る事に取り組むべきであるが。

市長 交流人口の増は重要な課題であり、観光客の入込数の増加を柱として地域コミュニティは地域住民の減少を食い止めることが必要である。



問 地域の空き家対策。自主防災対策等に向けて環境整備を踏まえてコミュニティの向上を目指すべきであるが。

市長 平成28年度に空き家バンク制度を創設し、空き家活用を図りながら地域コミュニティの維持に努めている。防災を意識したコミュニティづくりや自治会統合を進めることが重要である。

まちの発展に人材派遣で
外からの英知を

問 人口対策・企業誘致・商工振興等に対し霞ヶ関等から人材派遣を申請したらどうか。

市長 人材派遣に副市長として、受け入れる考えはない、県や都市部に職員派遣等は考えられる。

交流人口・滞在人口増に
最大の努力をすべき

ちょっと
ひとりごと

教育行政の推進を

市長／施設改善の計画を出したい



徳峰 一成 議員

問 すべての子どもに、基礎学力をつけるための取り組みは。

教育長 個別指導や集団学習に力を入れている。

問 今後、すべての小中学校に、教室を含め空調の設置、トイレの水洗化を、来年3月を目途に改善のための方針と計画を策定するよう、強く要求したい。



空調がない中での授業

教育長 来年3月を目途に、まとめたい。

問 昨年曾於高校の支援に、9種類の約1700万円補助をしている。毎年検証をおこないつつ進めることが大事ではないか。

教育長 そのようにしたい。

問 112名の曾於高校以外の高校生にも、何らかの支援を求めたい。

教育長 検討したい。

各施設は、包括的な
管理と運営

問 市有施設の管理費総額と収入総額は。

市長 昨年度の管理費は13億4千万円、収入総額は4億6千万円である。

問 市有施設のなかで、現在使用不可となっている施設の実態は。

市長 老朽化等で使用されていない施設は、24施設である。



多くみられる、未使用の施設

問 市は各施設の利用や改善計画等について、副市長をキャップに検討委員会を設置すべきではないか。

市長 今後、庁舎内部検討委員会を設置したい。

障害者の雇用

問 市職員、企業、団体の障害者雇用の現状は。

市長 市職員は法定雇用率を達成している。一方市内の主な企業等では20事業所中、昨年は10、今年は6事業所が未達成である。

問 障害者の雇用に、力を入れてほしい。

市長 今後、事業所においてお願いをしたい。

すべての高校生に
何らかの支援策を

ちょっと
ひとりごと



今鶴 治信 議員

農業用廃プラ処分料補助の増額を

市長／1年間現状の補助率で様子を見る

廃プラ処分料（1kあたり）

平成29年度

負担割	塩化ビニール	ポリエチレン
市	0円	2.4円
農家	0円	3円
計	0円	5.4円

平成30年度

負担割	塩化ビニール	ポリエチレン
市	12円	12円
農家	18円	18円
計	30円	30円

問 処理料の大幅値上げの理由は。

市長 平成29年度までは、1次処理して中国へ輸出していたが、再生可能な資源として製品化し輸出しなければならなくなったため、経費が大幅に上昇したことによる。

問 市の負担分を2分の1にできないか。

市長 1年間は、現状で様子を見る。

問 11月も回収できないか。

市長 今年度から11月も回収する計画である。

不妊治療

問 現在の対策は。

市長 医療保険が適応されない不妊治療をうけている夫婦に対し、体外受精・顕微授精に要する費用について10万円を上限に助成している。

問 人口増・少子化対策として補助対象外の人工受精治療にも市の助成はできないか。

市長 現状を調査して前向きに検討する。

農業公社

問 鹿児島県が、国家战略特区の認定を受ければ農業分野における外国人の就農が可能になるが、農業公社で取り組むことはできないか。

市長 県が特区の認定を受ければ、市としても積極的に取り組む予定である。

問 農繁期の人手不足の時期に人材派遣は可能か。

市長 農作業サポート事業として人材派遣も視野に入れている。

少子化対策は
きめ細やかな対策を

ちょっと
ひとりごと

将来のため再造林対策を

市長／県に伐採届の見直しを要望していく



刈合 昌昭 議員

問 伐採後の造林届は。

市長 伐採届に造林計画書まで記入するようになってきている。造林計画では58%が再造林計画されている。実質の再造林は30%以下になっている状況である。

問 今後市の対策は。

教育長 「曾於市学力向上」を合言葉に教職員の資質向上、各学校における校内研究授業や県、市が主催する教職員研修会等を通して、資質・能力を育成する。

問 市内の学校教育方針は。

全国学力・学習調査の状況

市長 県、市、森林組合、民間事業者を交えて協議しており人的協力体制ができないかを検討している。

問 8月12日の新聞掲載を読まれたか。

新聞を読む生徒割合とテストの平均正答率 (%)

小学校 新聞を読む頻度	算数A	算数B	理科
ほぼ毎日読んでいる	72.8	62.3	67.1
ほとんど、全く読まない	61.2	48.7	58.4

中学校 新聞を読む頻度	数学A	数学B	理科
ほぼ毎日読んでいる	74.1	56.5	72.6
ほとんど、全く読まない	65.1	45.8	65.1

*この表は平成30年8月12日付南日本新聞社掲載記事を元に独自で作成したものです。

教育長 新聞を読むほど、正答率上昇との記事が記載されていた。

市立図書館利用

問 図書館の利用状況及び夏休み期間の状況は。

教育長 平成29年度の状況は。

図書館利用者数 (人)

末吉本館	36,384
大隅分館	8,088
財部分館	9,996
合 計	54,468

夏休み期間利用者 (人)

末吉本館	8,215
大隅分館	2,040
財部分館	2,032
合 計	12,287

問 都城市の新しい図書館に行かれたか。

市長 大変開放感があり素晴らしい図書館が出来たと思う。

問 市立図書館のリフォームの考えは。

市長 検討委員会を設置して十分検討する。

みんな新聞
読んでいるかなあ!?

ちょっと
ひとりごと



大川内 富男 議員

小学生の通学は早く市内統一を

市長／市内小学校全校でバス通学が可能か検討

問 合併時、協議会では、どの様に協議されたか。

市長 財部町の遠距離通学補助及びスクールバス運行については、新市において調整し引き続き実施するものとなっている。



2 km以上はバス通学の財部町



遠い所でも徒歩通学の大隅町・末吉町

問 合併して13年が経過しているが財部町のバス通学と、大隅町・末吉町の徒歩通学に非常に不公平感を感じるが。

市長 すべての小学校でバスの運行が可能か検討している。

問 通学を平等にするには3通りある。

①小学校のバス通学を廃止する。

②すべての小学校を無料のバス通学にする。

③すべての小学校を有料のバス通学にする方法がある。

市長はそれを決定できる権限をもっているが。

市長 即・財部町のバス通学を廃止するとか、又全小学校をバス通学にするとかできない所である。

財部駅屋台村

問 屋台村の全体構想は。又、収支計画・開業年月日はいつか。

市長 現段階では全体構想も、収支計画・開業年月日も決まっていない。

問 JRと特急を停めてもらう交渉は。又、鹿児島中央駅、都城駅、財部駅の乗降客数は。

市長 JRとは未だ交渉していない。又、乗降客は、鹿児島中央駅3万4684人、都城駅3286人、財部駅173人である。

問 この様な状況で公約の財部駅屋台村は本当にできるのか。

市長 私としては造りたい。

住民にサービスの不公平を正すのが行政の仕事なんだがなー

ちょっと
ひとりごと



やがて屋台村で賑わうであろう財部駅前の今

財部町における夏の催事

市長／今後の取り組みを強化していく



松ノ下 いずみ 議員

問 どんこ大会で、地元住民によるおもてなしはできないか。

市長 実行委員会で取り上げていく。

問 清流祭りの参加者が少なかったようだ。

市長 あまりない催しなので今後も工夫しながら開催していく。

問 悠久の森ランニング大会でファミリーの部や子どもの部は設けられないか。

市長 実行委員会で提案してみる。



暑さをものともせず

問 各イベントにおいて、交流人口を増やすため特産品の販売や郷土芸能など取り組みめないか。

市民課長 地域の活性化のため、地道に盛り上げていくよう取り組んでいく。

問 大川原峡周辺の整備がなされていない所があるが対策は。

市長 河川部分は県と協議しながら、市も担当課を決めて整備していく。

子育て支援

問 市役所でこれまで父親の育児休暇を取得した職員はいるか。その原因は。

総務課長 今までいない。休暇をとる環境にな

問 3歳児への絵本配布を乳児からの配布にできないか。

市長 総合的に議論を深めて色々な形で支援していく。



まずは絵本から

市道十文字・正部線

問 速度規制が県警へ申請中とのことだったが。

市長 9月4日に市街地以外で2車線の場合、通行規制は難しいとの回答であった。

問 では道路の抜本的な改修はできないか。

市長 市道は悪い路線から改修していく。

問 FM放送で道路の異常を発見したら連絡するように、市民に要請しているが。

市長 小さな穴でも発見したら連絡してもらおう、強化していく。

田舎の願いは
県には届かない

ちょっと
ひとりごと



岩水 豊 議員

ホテル誘致は

市長／誘致のめどなし

問 ホテル誘致の相談はないか。旅館・ホテル施設誘致促進条例及び規則の宿泊定員60人以上・多目的ホール400㎡以上の条件見直しが必要では。

市長 ホテル建設に関する情報は、4事業所あったが、建設までには至っていない。交流人口の増加に宿泊施設の有無が大きく影響するので、条件の緩和は、検討する。

鳥獣被害対策は
問 捕獲実績は。

市長 次のとおりである。

年度 捕獲	29	28	27
イノシシ	398	338	351
タヌキ	546	470	290
カラス	53	6	82
野ウサギ	55	49	6
シカ	37	38	25

問 捕獲報告の簡素化はできないか。

市長 駆除隊からの要望もあり、今後簡素化に向け協議したい。

水道事業の健全な運営

問 公共水道の普及率は。

市長 市内全域でみると90・4%である。

問 29年度の収益・企業債（借金）はいくらか。一般会計からの繰入額は。

市長 239万円の赤字、借金は15億円、一般会計からの繰入額は約4500万円である。

問 市の水道がなく自分たちで工事管理している集落水道利用者からすれば不公平感がある。

市長 私個人としては、補助金制度もあるので、不公平感はないと考えている。

問 水道管の耐用年数は40年であるが、40年を超えた本管はどれだけあるか。

市長 約55kmある。

問 危機的状況ではないか。計画的な早急な本管の更新を。

市長 詳しい内容を記載した台帳がないので整備中であり、今後本管更新計画を立て対応していく。



桜ヶ丘排水池

市水道を市内全域に

ちょっと
ひとりごと

夢チャレンジ

8月10日こども議会開催

3人の小中学生が一般質問、
ここでは代表して川崎君の内容を紹介します。

川崎 颯君（櫛小6年）

問 櫛小の校区には、みんなで遊べる公園がない。
遊具などあり、みんなで遊べる公園を作って

市長 市長櫛校区の子ども達が遊ぶことができるように
学校の遊具施設を含めた公園整備を検討する。

川崎颯君は、野球少年団に入って頑張っています。

今年の夏休みは、曾於市青少年リーダー研修に参加、屋久島の縄文杉まで往復10時間の登山を完走、多くの友達もでき積極性を発揮、ムードメーカーとしてきつい登山も元気をみんなにあげていました。将来の夢は、お父さんと一緒に大工の仕事をすることです。夢に向かって頑張ろう。

※23名の小中学生が真剣に曾於市の将来や学校が抱える問題を質問しました。

執行部も真摯に説明しましたが、もう少しわかりやすい説明で、あってもいいのではと感じました。（岩水）



表紙によせて

「ラストまで みんな
正々堂々 一生懸命
がんばる櫛っ子」をス
ローガンに櫛小学校・櫛
校区合同の大運動会が開
催されました。
昨年から校区合同にな
りましたが、たくさん
地域の方々が参加され、
大変盛り上がりました。
写真は、全校児童によ
る「オハラ節チェスト」
のパフォーマンスです。
日頃の練習成果を出して
のびのび元氣いっぱい
の櫛っ子たちでした。
（今鶴）

編集後記

列島各地で、集中豪
雨・巨大地震・大型台
風など発生し、広い地
域に災害をもたらした。
多数の犠牲者が
出、多くの被災者は復
旧・復興が進まず、不
自由な生活を送られて
いる。

曾於市でも7月の豪
雨で水路・道路に災害
が起きた。災害は「い
つ・どこで・何が起き
るか予測できない」普
段から備えと心構えが
大切だと思います。

秋の収穫前に台風が
通過し、稲・ソバも倒
れている所が数多く見
られ、畑ではからいも
掘り、田んぼでは夫
婦・家族全員での掛け
干し、コンバインでの
稲刈りしている姿が見
られる。

みなさんの収穫はど
うでしたか。（鈴木）

私たちが
作っています

いろんなご意見を
お聞かせ下さい。



議会広報等調査 特別委員会

委員長 岩水 豊
副委員長 松ノ下 いずみ
委員 重久 昌樹
" 鈴木 栄一
" 今鶴 治信
" 伊地知 厚仁

発行責任者
議長 原田賢一郎